

平成24年度 当初予算

「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」を目指して
限られた財源を重点的・効率的に配分

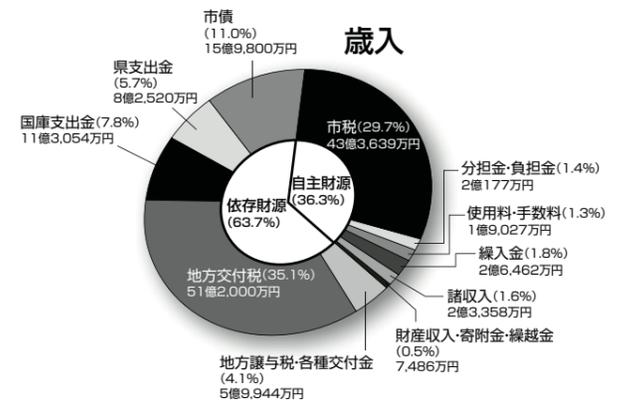
予算の概要

平成24年度当初予算は、市の経営指針である第2次瀬戸内市総合計画に掲げる将来像「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の実現を目指すため、重点的に取り組む事業を選定し、限られた財源を重点的・効率的に配分しています。

予算の規模は、一般会計予算が145億7,467万円（前年度当初比3・6％増）、特別会計（11会計）が108億9,369万円（前年度当初比12・7％増）、事業会計（2会計）が31億8,429万円（前年度当初比12・4％増）、全会計の総額は286億5,265万円（前年度当初比7・8％増）となりました。

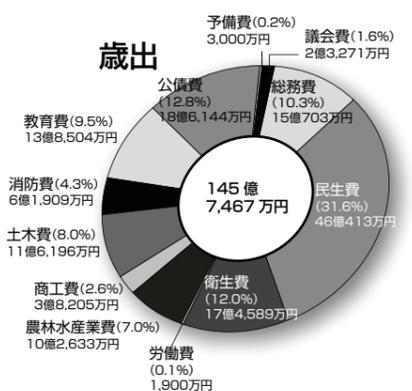
歳入

一般会計予算の歳入のうち、市税は、個人市民税が扶養控除の一部改正などにより前年度と比べて3・6％（5,273万円）の増と見込んでいますが、法人市民税は長引く景気低迷の影響など



歳出

どに伴い、市債全体では前年度と比べて40・3％（4億5,880万円）の大幅増となっています。



により前年度と比べて19・3％（1億184万円）の減と見込んでおり、市税全体では前年度と比べて3・6％（1億5,972万円）の減となっています。
地方交付税は、国の地方財政対策により前年度以上の額が確保されたことなどから前年度と比べて6・9％（3億3,000万円）の増と見込んでいます。
また、市債は、地方財源の不足を補てんするための臨時財政対策債を前年度と比べて14・2％（1億2,900万円）の減と見込んでいますが、大型事業の展開など

一般会計の歳出では、平成23年度から開始した中学生までの医療費無料化や、高齢化などによる社会保障費の自然増、可燃ごみ焼却能力向上のためのクリーンセンターかもめ改造事業や、新設道路の建設費などの予算を計上しています。
また、国の補正予算に伴い学校教育施設耐震化整備事業を前倒し

で平成23年度内に予算計上し、平成24年度へ繰り越して実施することとしています。

さらに、戦略重点事業として、緊急的かつ横断的な課題に対応するために、市民活動応援事業や子どもを伸ばす教育事業などを引き続き計上しています。

特別・事業会計では、介護保険特別会計の給付費、企業団地造成事業特別会計の事業費、新病院建設にかかる事業費の増額などといった予算となっています。

こうした経費の財源を捻出するために、財政運営適正化計画に

沿って、財政の健全化に取り組んでいます。すべての財源不足は解消できず、不足する財源は財政調整基金を取り崩して対応しています。

予算の特徴

戦略重点事業

緊急的かつ横断的な課題の解決に向けて重点的に取り組みます。
・子どもを伸ばす教育

発達障害の児童の特別支援などを行う教育支援員、外国語教育の

充実のための外国人講師の配置や子どもの読書活動の指導などを行う図書館司書、複式学級に対応するための非常勤講師を配置・増員します。

大きくて学びやすい教室機の配備やプロジェクトの追加設置、よりよい環境で学習できるように教室への天井扇の設置を行います。
また、小学校高学年と中学生を対象にした学力調査などを実施します。

・ごみ30％減量 1,342万円
資源ごみ回収団体や生ごみ処理機購入者への助成など市内で排出

瀬戸内市の交通輸送の利便性を生かし優良企業を積極的に誘致します。

また、牛窓地域の高齢者や自家用車を利用しない人などの生活の足を確保するためデマンドバスの実証運行を行います。

・定住化 3,763万円
販売促進補助金など販売体制を強化し、オーリーブ団地牛窓をはじめとする分譲団地の販売促進など

を行います。

会計別予算

区分	予算額(万円)
一般会計	1,457,467
特別会計	
国民健康保険	416,565
国民健康保険診療施設掛診療所	3,486
国民健康保険診療施設美和診療所	1,285
介護保険	379,501
後期高齢者医療	46,137
農業集落排水事業	26,014
漁業集落排水事業	3,031
下水道事業	152,710
土地開発事業	9,796
企業団地造成事業	50,348
公共用地先行取得事業	496
計	1,089,369
事業会計	
病院事業	157,678
水道事業	160,751
計	318,429

市民1人当たりの主な予算

